

CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v1.2)

1-1 建物概要			1-2 外観	
建物名称	ヒューリックロジスティクス三郷	階数	地上4F	
建設地	埼玉県三郷市	構造	S造	
用途地域	工業地域、準防火地域	平均居住人員	444 人	
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)	
建物用途	工場	評価の段階	竣工段階評価	
竣工年	2025年7月 予定	評価の実施日	2025年5月30日	
敷地面積	24,329 m ²	作成者	株式会社イブミコンサルティング	
建築面積	15,896 m ²	確認日	2025年5月30日	
延床面積	56,782 m ²	確認者	株式会社奥野設計	

2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 2.0

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q 環境品質

Q1 室内環境

Q1のスコア= 0.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 4.0

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア= 2.5

LR 環境負荷低減性

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 4.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.9

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.7

3 設計上の配慮事項		
総合	地球環境保護に配慮している。	
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境 (敷地内)
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
LED照明を採用するなど、設備システムの高効率化に配慮している。	外壁や内装に耐久性の良い材料を採用し、非常用発電の採用、受電の二重化、浸水の恐れのない2階に電源設備などを計画することにより災害に強い施設となるよう配慮している。	燃焼器具を採用せず、大気汚染の防止に配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される